保管用
よくお読みください
保証書別途

取扱説明書

入浴・シャワー用車いす
ＫＳ１０

● 目　次 ●

ご参考	1
安全に関するご注意	2
1.同梱部品の確認	6
2.安全ラベル	7
3.お使いになる前に	8
4.各部名称	9
5.各部の操作方法	10
6.使用方法および操作方法	13
7.お手入れの方法	16
8.保管についてのお願い	16
9.保守・点検	17
10.転倒防止金具の取付方法	18
11.仕様	19
12.製品番号	20
13.保証	21

このたびはカワムラサイクルの車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードしていただけます（http://www.kawamura-cycle.co.jp/product/manual.htm）。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご使用の際には必ず携帯していただき、必要なときにいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

KAWAMURA 株式会社カワムラサイクル

[ご参考]

介護保険法では、入浴介護に関連した基準が定められています。

◆指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準
(平成11年3月31日 厚生省令第37号)

第三章 訪問入浴介護

第50条(指定訪問入浴介護の具体的取扱方針)

一　指定訪問入浴介護の提供に当たっては、常に利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえ、必要なサービスを適切に提供する。

二　指定訪問入浴介護の提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者又はその家族に対し、サービスの提供方法等について、理解しやすいように説明を行う。

三　指定訪問入浴介護の提供に当たっては、介護技術の進歩に対応し、適切な介護技術をもってサービスの提供を行う。

四　指定訪問入浴介護の提供は、一回の訪問につき、看護職員一人及び介護職員二人をもって行うものとし、これらの者のうち一人を当該サービスの提供の責任者とする。ただし、利用者の身体の状況が安定していること等から、入浴により利用者の身体の状況等に支障を生ずるおそれがないと認められる場合においては、主治の医師の意見を確認した上で、看護職員に代えて介護職員を充てることができる。

五　指定訪問入浴介護の提供に当たっては、サービスの提供に用いる設備、器具その他の用品の使用に際して安全及び清潔の保持に留意し、特に利用者の身体に接触する設備、器具その他の用品については、サービスの提供ごとに消毒したものを使用する。

◆指定居宅介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準について
(平成12年3月17日 厚生省老人保健福祉局企画課長通知　老企第43号)

第四　運営に関する基準

九 介護(基準省令第一三条)

(二)　入浴の実施に当たっては、入所者の心身の状況や自立支援を踏まえて、特別浴槽を用いた入浴や介助浴等適切な方法により実施するものとする。
なお、入浴の実施に当たっては、事前に健康管理を行い、入浴することが困難な場合は、清しきを実施するなど入所者の清潔保持に努めるものとする。

安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

[表示マークの説明]

※正しい取扱いに関する必要事項をシンボルマークで表示しています。

⚠ 警 告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
⊘ 禁 止	してはいけないことを示しています。
❗ 必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

⚠ 警 告

⊘ 禁 止

●この車いすは、入浴（室内）用に設計されています。平らな場所以外では、ご使用にならないでください。

●背シートの面ファスナーを確実に固定してください。絶対に背シートを外して使用しないでください。転倒の原因となります。

●前ハンドルを水平にしたまま立ち上がらないでください。

●入浴・シャワー以外の目的で使用しないでください。特に、浴室内ではすべって非常に危険です。

踏み台・台車など本来の用途以外に使用しないでください。また、介助者は車いすに乗って介助しないでください。

●倒れ掛かるような急激な座り方はしないでください。また、座シート部以外に腰かけないでください。

転倒または壊れてケガをする恐れがあります。

●車いすを火気に近づけないでください。

シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、
熱くなった金属部分でやけどするなど危険です。
熱湯消毒についても同様です。

●勝手に改造・分解しないでください。

強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故の原因になりますので、絶対に改造・分解しないでください。本来の装着品を外してのご利用も改造の対象となります。

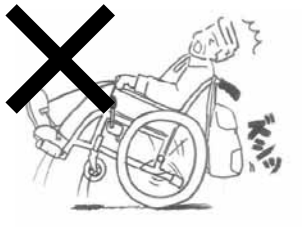
⚠ 警 告

禁 止

●複数の人数で乗らないでください。
この車いすは、一人乗り用です。二人以上で乗ると破損・事故の原因となります。

●押手に寄りかかったり、歩行補助として使用しないでください。

●背もたれに重いものを引っ掛けないでください。
転倒の原因となります。



●移乗の際は、介助者がしっかりと介護者を支えて行ってください。
転倒する恐れがあります。転倒防止の措置をとってください。

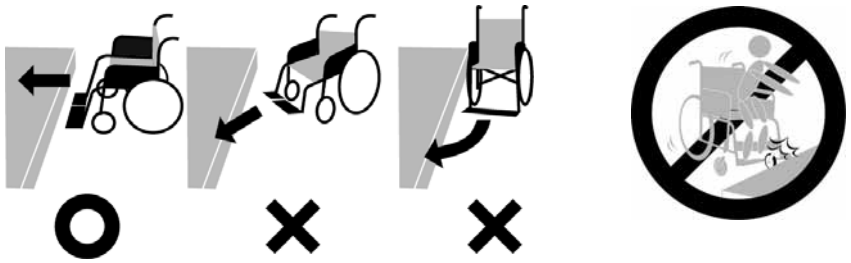
●車いすに乗り降りする際、一時停止する際は、必ず駐車ブレーキ（足踏みブレーキ）をかけて車いすが固定されていることを確認してください。

●大きな段差のある場所・階段では使用しないでください。

●段差の前では一旦停止してティッピングレバーを利用して乗り越えてください。
決して勢いをつけて乗り越えないでください。大変危険です。
また、フレーム及びキャスタ車輪等の損傷を受けます。

●段差を乗り越える前に前のめりになりすぎたり、前キャスタを浮かせすぎたりしないでください。転落・転倒の原因となります。

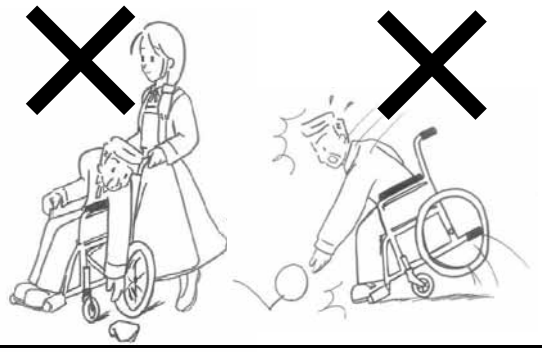
●発進するときや段差を乗り越えるときには、キャスタのタイヤが真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。
斜めに進入したり、キャスタタイヤが斜めになった状態で発進すると段差を乗り越えられなくなったり、キャスタが破損して事故の原因となる恐れがあり大変危険です。



●可動部に指や手を挟まないようにしてください。ケガの原因となります。

●車いすでの走行中は、身体を乗り出さないでください。
車いすが不安定になり危険です。

●車いすに座ったまま強い前傾姿勢をとらないでください。
車いすに座ったまま前方の地面に置いてある物を拾うと、車いすごと転倒し大変危険です。



⚠注 意

必ず守る

●重度者の介護には、必ず二人以上の介助者が付き添ってください。

●介助する人は、車いすの機能と操作をよく理解し、なれた状態で介助を行ってください。

●ご利用者の心身の状況、症状を充分考慮し、適切な介助を行ってください。

●石鹸を使用した時は、必ず洗い流してからお乗りください。

●車いすに乗り降りの際は、必ずフットサポートを収納してください。
絶対にフットサポートの上に乗って車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。
転倒の原因となります。

●急発進、急停車、急な方向転換をしないでください。

●車いす以外の目的に使用しないでください。
物品運搬・踏み台などに使用しないでください。
車いすの上に立ち上がらないでください。

●車いすを持ち上げる時に、アームサポート、レッグサポート、車いすにお座りの方の体の一部を持たないでください。

●ステップに足を乗せる時は、片足ずつ乗せてください。
両足同時に載せると転倒の原因になることがあります。

●走行中は、足を必ずステップの上に乗せておいてください。
足を地面に付けたまま走行したり、ステップから外して走行すると、ステップと地面の間に足が巻き込まれてケガをする恐れがあり、危険です。

●つまさきやかかとが壁や柱、扉などに衝突しないよう、充分に注意してください。

●部品等が破損したり損傷を受けている場合は、すぐに部品を交換してください。

●傾斜地では、駐車しないでください。
傾斜地では、ブレーキをかけても車いすが動く場合があり、大変危険です。

●石鹸やシャンプーを使用した床面や濡れている床面では、ブレーキをかけても車いすが動く場合があります。充分に気をつけてください。

●足で車いすを止めないでください。ケガの原因となります。

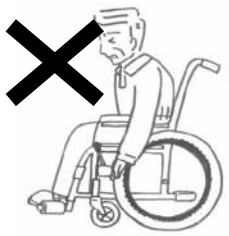
⚠ 注 意

禁 止

●本説明書に記載されている調整箇所以外の調整を行わないでください。
事故の原因となります。

●車いすを投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。

●跳ね上げ部、ブレーキなどの操作レバーに
荷物などを掛けないでください。



●タイヤをもって車輪を操作しないでください。
駐車ブレーキで指をはさむなど、大変危険です。

●ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。
ブレーキが変形・破損する恐れがあります。

●下記のようなところに車いすや部品を放置しないでください。
- 車道に近いところ　・人通りのあるところ
- 路面に段差や凸凹のあるところ　・湿気の多いところ
- 雨風の当たるところ　・海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
- 直射日光の当たる場所（車内も含む）
- ストーブなど火気を使用し高温になる場所
- ほこりの多い場所
- 子供がいたずらをする恐れのある場所　・非常口、消火器、消火栓の前
- 坂道　・暑い日や寒い日の戸外

事故やサビ・破損の原因になります。

●小さなお子様には使用させたり遊ばせたりしないでください。

●車いすを浴槽につけてご使用にならないでください。

●温泉やプールなどの金属に悪影響を与える成分を含んでいる場合は、ご使用にならないでください。

必ず守る

●ご使用前には各部を点検してください。
車いすは“動くもの”ですから、長時間のご使用等により劣化が生じます。
ご使用前の点検を励行し、異常が見つかったら直ちにご使用を中止してください。

●車いすにバリなどがないかを確認してください。
衝突等により金属･樹脂部にバリなどが発生することがあります。ケガの原因となりますので、充分ご注意ください。

●介助者は、ご利用者が車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。

●車いすの乗り降りや移乗など車いすが不安定になりやすいときには、必ず２名以上の介助者が付き添ってください。

●安定した姿勢で座ってください。
座面深くに座ってください。左右にかたよらずに座ってください。
また、介助者は、ご利用者が安定した姿勢で座っていることを確認してください。

●皮膚の弱い方のご利用の際には、充分ご注意ください。

⚠ 注 意	
必ず守る	●肘掛けは、下げた状態でご使用ください。 上げたまま使用すると転倒や思わぬケガの原因となります。 ●肘掛けに腕を乗せたまま、肘掛けを上げないでください。 ●ステップ板が障害物に接触しない位置で使用してください。 ●面ファスナーに糸くず、汚れなどが付いたときは取り除いてください。 取り除かないと、面ファスナーの接着力が弱くなり、事故の原因となります。

なお、この取扱説明書は、イラストが一部実車と異なる場合があります。

[製品の特徴･使用目的]

この商品は、入浴・シャワー用車いすです。

●この車いすは入浴（室内）用に設計されています。
●ご利用者の体を洗う事を目的としています。浴槽につけてのご利用を目的としておりません。
●この商品は、一人乗り用です。

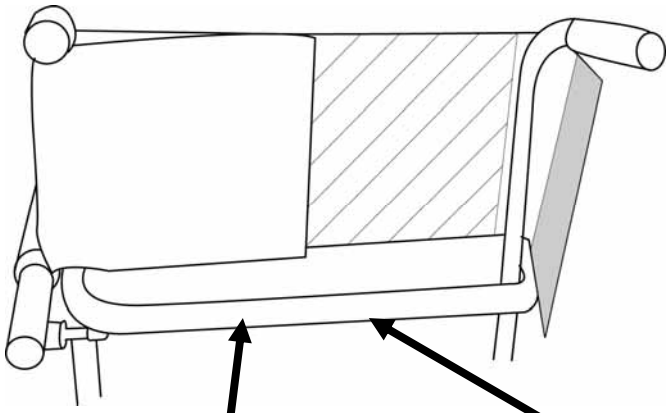
1.同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

- 工具　　メガネスパナ 10×13mm
- 取扱説明書（保証書はがき）
- 転倒防止金具

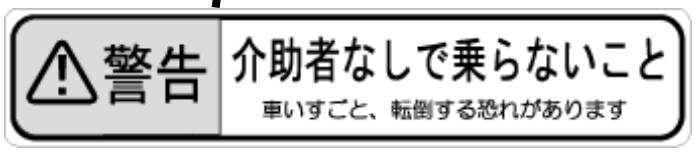
2.安全ラベル

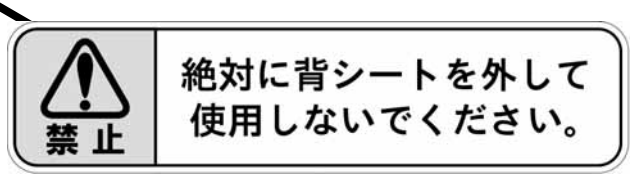
- 取扱い上の重要な事項を記載した安全ラベルが貼ってあります。
- 安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。
- 安全ラベルを汚したり、はがしたりしないでください。

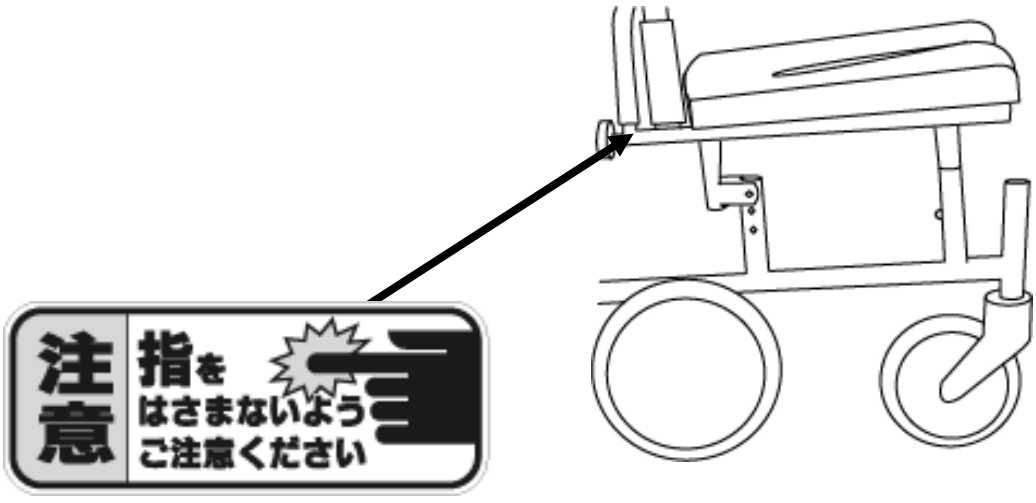


ご利用の際には、背シートの面ファスナーのメスとオスをしっかりと張り合わせてください。

背シートは、下記目的のために取り外すことができます。
① 背中を洗う際に少し緩めるため
② ご利用後に乾燥させるため







3.お使いになる前に

車いすを使用する前に、安全のため各部の点検を行ってください。
長期間使用を続けると、劣化が生じます。
衝突等でバリが生じることもあります。裸で使用するため、しっかりと点検を行ってください。
異常や不具合が見つかったらただちにご使用を中止してください。

★装着品の確認

- 背シート、座シートはしっかりと固定されていますか？
- 脚部はしっかりと取付けられていますか？
- ステップ板はしっかりと取付けられていますか？
- 背もたれ固定ノブはしっかりと固定されていますか？
- 転倒防止金具が固定されていますか？

★ブレーキの確認

- ブレーキが正しく作動しますか？
- ブレーキをかけた状態で駆動輪が回転しませんか？

★肘掛け

- 正しく作動しますか？
- キズや亀裂等はありませんか？

★脚部

- スムーズにスイングアウト、脱着できますか？
- ステップ板がパタパタしていませんか？
- キズや亀裂等はありませんか？

★全体的に

- ガタつきはありませんか？
- まっすぐに走りますか？
- 各部ボルトやナットが緩んでいませんか？

★介助者へ

- お風呂場では、石鹸やシャンプーを使用するため、非常にすべりやすくなっています。ご利用者さまはもちろん介助者もすべる恐れがあります。ご利用の際には充分ご注意ください。

万が一、ケガや事故が起きた際には、早急に弊社へご連絡ください。
（連絡先は、裏面にございます。）

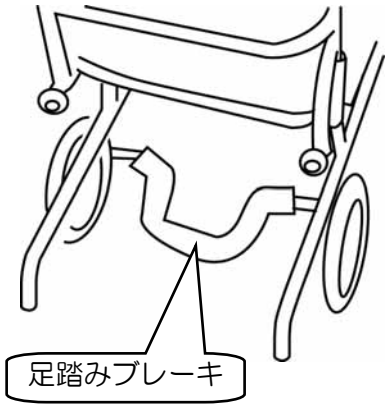
消費生活用製品安全法の改訂により、製造メーカーは被害を拡大させないためにも早急な対応が求められております。

4.各部名称

①押手（手押しハンドルグリップ）	介助者が車いすを移動させる際に握る部分です。
②肘掛け（アームサポート）	移乗しやすくなるよう跳ね上げできます。(跳ね上げ式)
③前ハンドル	ご利用の際に握っていただくと安全です。
④脚部（フットレッグサポート）	脱着できるスイングアウト脚部です。
⑤ステップ板（フットサポート）	足をのせる板です。
⑥前輪（キャスタ）	自在に方向転換できる小車輪です。
⑦後輪（主輪）	主輪です。
⑧背もたれ固定ノブ	ご使用時に背もたれを固定するノブネジです。
⑨背シート（バックサポート）	背部がよりかかる場所です。
⑩座面（シート）	中央に座ってください。クリなしシートもあります。
⑪足踏みブレーキ	車いすを駐車するときに使用します。

5.各部の操作方法

★ブレーキの使用方法



＜ブレーキをかけるとき＞
　　足踏みブレーキを下に踏んでください。

＜ブレーキを解除するとき＞
　　足踏みブレーキを足の甲などを使って上に
　　持ち上げてください。

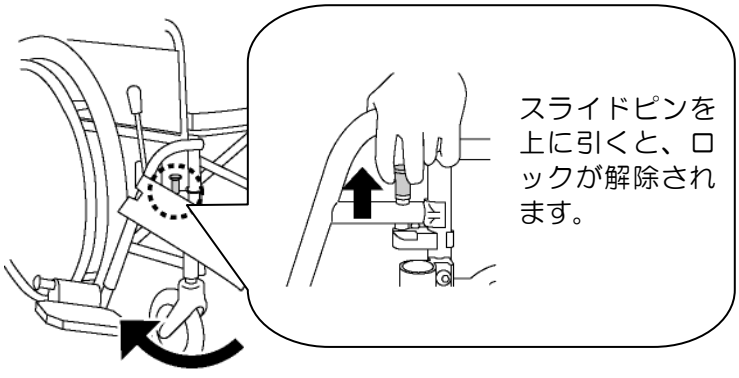
⚠ 警 告

●必ずブレーキをかけてから、お乗りください。

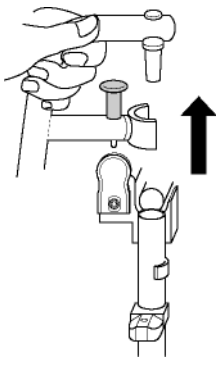
車いすが動き、転倒の原因となります。

★脚部の使用方法

＜スイングアウトするとき＞

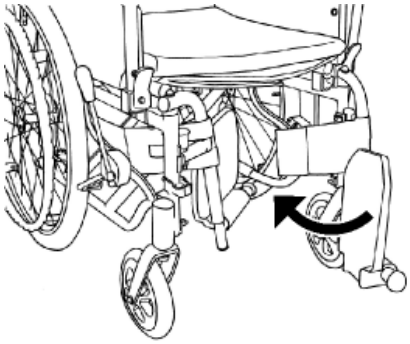


①スライドピンを引いて固定ロックを解除し、
　外側に廻します。



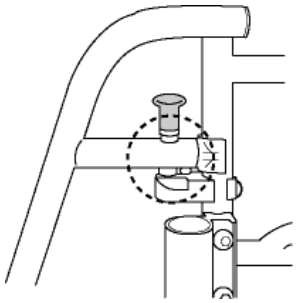
②外側に廻した状態で脚部を上に引き
　抜くことができます。

＜スイングインするとき＞



③スライドピンを引いて固定ロックを解除し、内側に廻します。

＜戻すとき＞



④「カチッ」という音がして、スライドピンが差し込み穴に収まっていることを確認してください。

⚠ 注 意

●手を挟まないよう注意してください。
●ご使用になる際には、必ず脚部が固定されていることを確認してください。

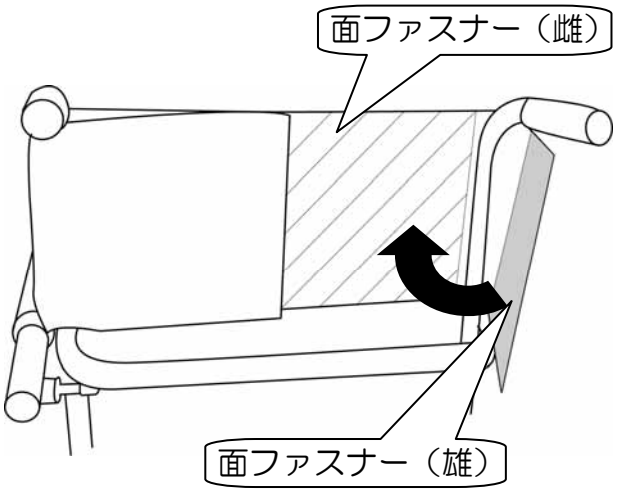
★座面の高さ調節方法

座面の高さを 42 ㎝・40 ㎝・38 ㎝の 3 段階に調節することができます。調節については、専門業者に作業をお願いしてください。

⚠ 注 意

●調節については、必ず専門業者に作業をお願いしてください。
●調節の際は、ネジがしっかり締まっているか、ご確認ください。

★背シートについて



ご利用の際には、背シートの面ファスナーの雌と雄をしっかりと張り合わせてください。

背シートは、下記の目的により調整・取り外すことができます。
①背中を洗う際に少し緩めるため
②ご利用後に乾燥させるため

⚠ 警 告

●背シートの面ファスナーを確実に固定してください。面ファスナーの貼り合わせが弱いと背シートがはずれ、利用者が後方へ転倒する恐れがあります。背シートのない状態では使用しないでください。
●面ファスナーに糸くず、汚れなどがついた場合は、取り除いてください。接着力が弱まり事故の原因となります。
●面ファスナーの接着力が弱くなった場合は、使用を中止してください。新しい背シートとの交換が必要です。その際には、お買い求めの販売店にご相談ください。

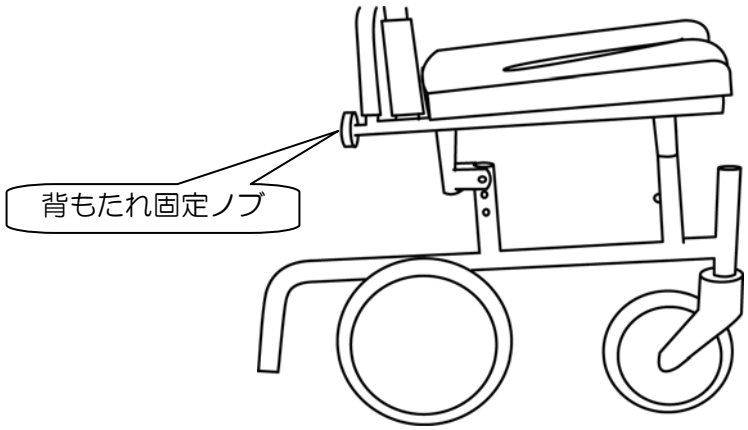
禁 止

●絶対に背シートを取り外して使用しないでください。転倒の原因となります。

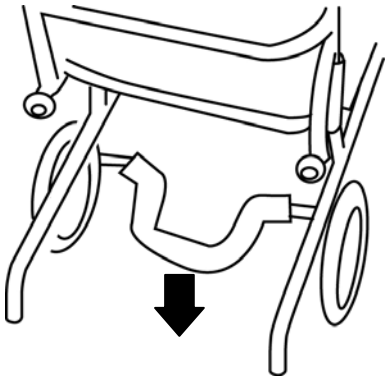
6.使用方法および操作方法

※ご使用前には必ず背もたれ固定ノブがしっかりとしまっていることを確認してください。

＜移動に使用する場合＞



①足踏みブレーキをかけてください。

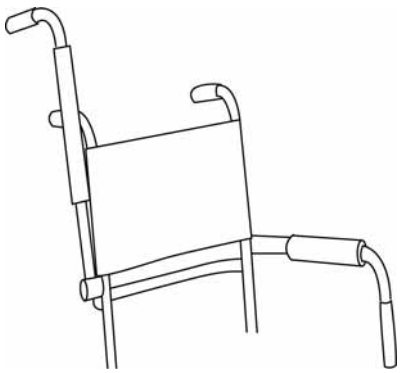


⚠ 警 告

必ずブレーキをかけてから、お座りください。

車いすが動き、転倒する恐れがあります。

②肘掛けを跳ね上げます。



⚠ 注 意

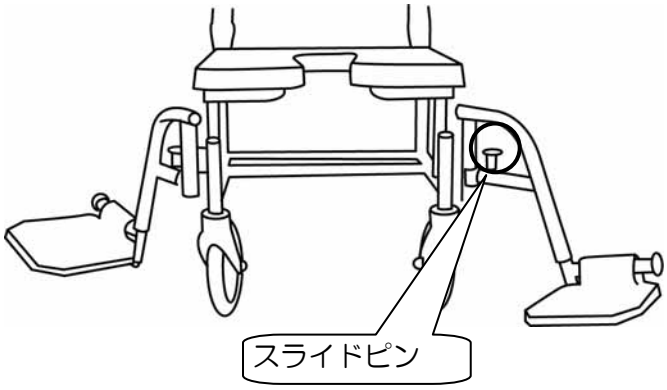
どちらか一方の肘掛けを上に跳ね上げます。

※その際に手をはさまないように注意してください。

⚠ 警 告

座位保持ができない利用者は、肘掛けを跳ね上げると転倒の恐れがあります。利用者の身体を確保してください。

③脚部をスイングアウトさせます。



スライドピンをひっぱりながら、
脚部を外側に回します。
脚部を着脱していただいても結構です。

⚠警 告

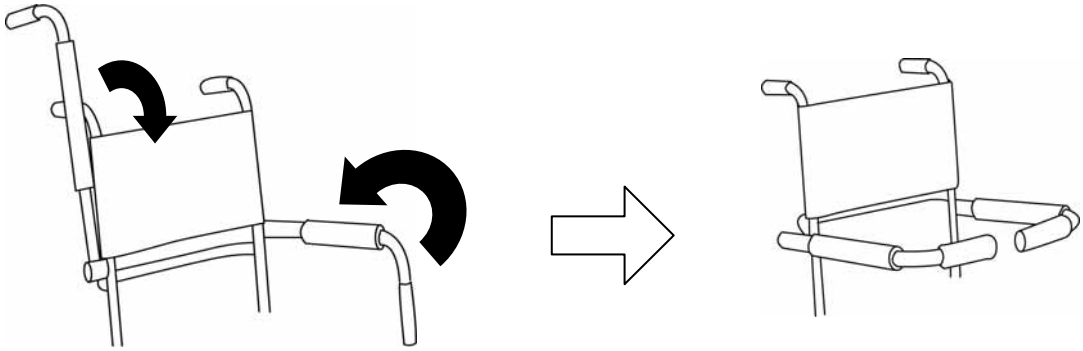
●ステップ板は、地面と平行にしてお使いください。収納の時以外は、ステップ板を立てないでください。

④座面に座ります。

座面の中央にゆっくりとお座りください。（片側に寄ってお座りになりますと、転倒する恐れがあります。）
座位が保持できていることを確認してください。

⑤肘掛けを戻します。

跳ね上げた肘掛けを元にもどし、肘掛け先端部の前ハンドルを回転させます。



⑥足を載せます。

脚部を元に戻し、足をステップ板の上に片方ずつ載せます。両足を一度の載せると転倒の原因となります。

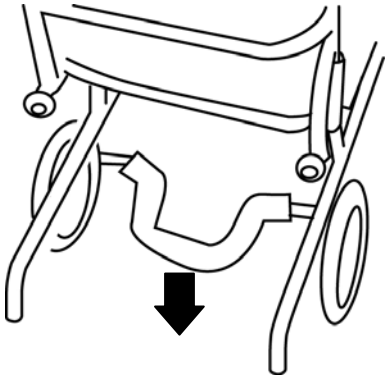
⚠警 告

●乗り降りの際には、必ずブレーキをかけて、必ず車いすを固定してください。車いすが動いて危険です。
●足は、ステップ板の高さ以上に上げないでください。上に上げ過ぎると、転倒の原因となります。

＜浴室内で使用する場合＞

※入浴（衣服等）の準備はできていますか？　予め準備をしてください。利用者から目を離さないでください。

①足踏みブレーキをかけてください。



⚠ 警 告

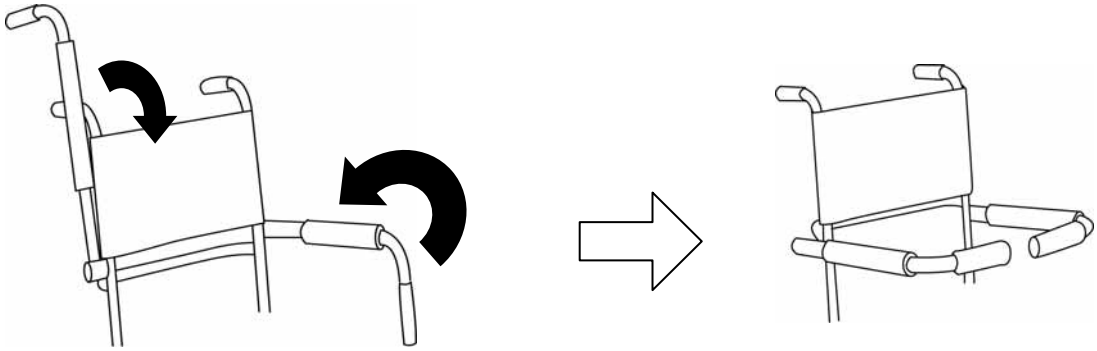
必ずブレーキをかけてください。ブレーキをかけていないと、不意に車いすが動き、転倒する恐れがあります。

②座位が保持できていることを確認してください。

お尻が座面奥まで深く座れていることを確認してください。

③肘掛け先端部を回転させます。

肘掛け先端部のアームパイプを回転させます。



④ステップ板から足を降ろしてください。

このとき、足は片方ずつ降ろしてください。

⚠ 警 告

●症状に応じて介助者は複数必要です。介助者一名では、思わぬ事故になる恐れがあります。利用者の身体から目を離さず、手を離さないでください。

●両足を一度に降ろさないでください。転倒の原因となります。

7.お手入れの方法

★金属部分（フレーム）

凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびり着いた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。
ご使用後は必ず乾燥させてください。

★樹脂（プラスチック）部

樹脂部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

★シート類

シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。
背もたれは取り外せますのでご使用後は干して乾燥させてください。ぬれたまま放置しますと、カビの原因になります。ご使用の際は必ず背シートを取り付けてください。取り外したままのご使用は大変危険ですので絶対におやめください。

＜汚れがひどいとき＞

●汚れがとれにくい場合は、中性洗剤を用いてください。その後、乾燥させてください。
●しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取り除いてください。
●洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。

⚠ 注 意

●中性洗剤以外を使用しないでください。
中性洗剤以外の洗剤を使用すると、変質・変色・傷みの原因となります。

●シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。
変質・変色・傷みの原因となります。

●たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
傷みの原因となります。

⊘ 禁 止

●熱湯やオゾンで洗浄しないでください。故障・変質・変色の原因となります。
●絶対に背シートを取り外して使用しないでください。転倒の原因となります。

8. 保管についてのお願い

車いすはお手入れの後、安全な場所に保管してください。

⚠ 注 意

●下記のようなところに車いすを放置しないでください。
・車道に近いところ　・人通りのあるところ
・地面に段差や凹凸のあるところ　・湿気の多いところ
・雨風が当たるところ　・海沿いの屋外（潮風の当たるところ）
事故やサビ・破損の原因になります。

9.保守・点検

～～　一ヶ月に一度は安全点検を行ってください!!　～～

★ブレーキはしっかり効きますか？

もし、異常がございましたら、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★変な音がしませんか?

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかをご確認してください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

★四点接地していますか？

前輪二輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。
四点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。直ちにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★まっすぐ進みますか？

平地で車いすを左右均等な力で押してください。自然に曲ってしまう場合、どこかが歪んでいる可能性があります。原因となっている箇所の修理・交換を行ってください。

★シートに破損やたるみ、傷みはありませんか？

車いすは湿気に弱いので、雨にぬれる場所などに放置していたり、長時間続けてご使用になるとシートにかび等が発生します。ご使用後は、本体と共に自然乾燥させてください。
背シートの面ファスナーは確実に固定してください。面ファスナーの貼り合わせが弱いと背シートがはずれ、利用者が後方へ転倒する恐れがあります。背シートのない状態では使用しないでください。

★ネジの緩みはありませんか？

ガタがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐに緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★車輪やキャスタはしっかり固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャスタを留めているボルトは緩んでいませんか？緩んでいると使用中突然車輪やキャスタが外れて転倒するなど大変危険です。充分ご確認の上、しっかりと締めてください。

★洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。
シンナーやベンジン・アルコールなどの揮発性のものは使用しないでください。
たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
オゾン消毒はしないでください。ゴム材料の収縮などの原因になります。
変質・変色・傷み・割れの原因となります。

異常が見つかったらご使用を中止してください。

⚠ 注 意

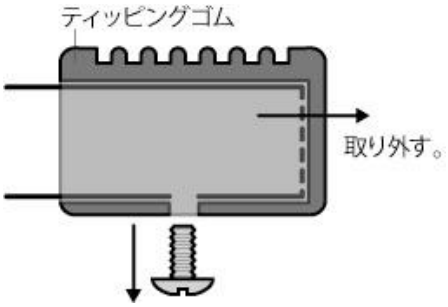
●スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
●異常が見つかったら、直ちにご使用を中止して販売店へご相談ください。

10.転倒防止金具の取付方法

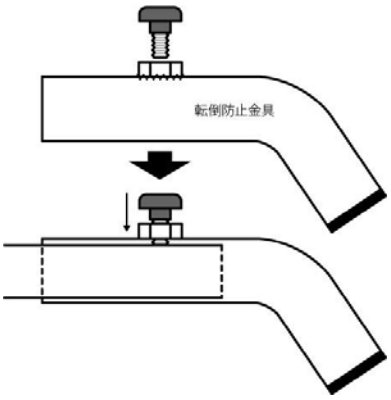
転倒防止金具：標準Ⅰ型

必要工具：プラスドライバー　　１本（プラスチックハンマー　１本）

① ティッピングゴム固定ネジをプラスドライバーで取外し,ティッピングゴムを抜き取ります。
※ティッピングゴムが抜き取りにくい場合はプラスチックハンマー等を使用して下さい。



② 転倒防止金具の奥までティッピングバーを差し込み,ノブねじでしっかり固定します。



11.仕　様

（in:インチ）

品名・名称		標準仕様・規格　<KS10>
座幅 （mm）		390
形式 （mm）		380・400・420
レッグ長さ （mm）		320・340・360
後座高 （mm）		350・370・390
シート奥行 （mm）		380
背もたれ高 （mm）		420
肘掛け高 （mm）		240
全高 （mm）		790・810・830
全長 （mm）		830
全幅 （mm）		490
折りたたみ	全高 （mm）	550・570・590
	全長 （mm）	830
	全幅 （mm）	490
重量 （kg）		11.9
フレーム形式		背フレーム前倒し式
前輪		KS 用 6in ソリッドキャスタベアリング式
	キャスタ車輪	KS 用 6in ソリッドキャスタ車輪
	ヨーク	KS 用 6in パッキン式ヨーク
後輪		KS 用8in ソリッドキャスタ車輪のみ
背シート		ベルトシート
座シート		固定式（標準）クリあり）/ クリなし　レッド/イエロー
肘掛け		跳ね上げ＆囲み式
	肘当て	ウレタンチューブ　黒色
脚部		スイングアウト式
ステップセット		C.　黒色
	ステップ板	c.黒色
	ステップポスト	SPC-2
	板バネ	SS-c
	バンパーゴム	SBG-c.　黒色
ハンドグリップ		1.ハンドグリップ反射板付
転倒防止金具		キャスタ無し　標準Ⅰ型

※記載の重量や寸法は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

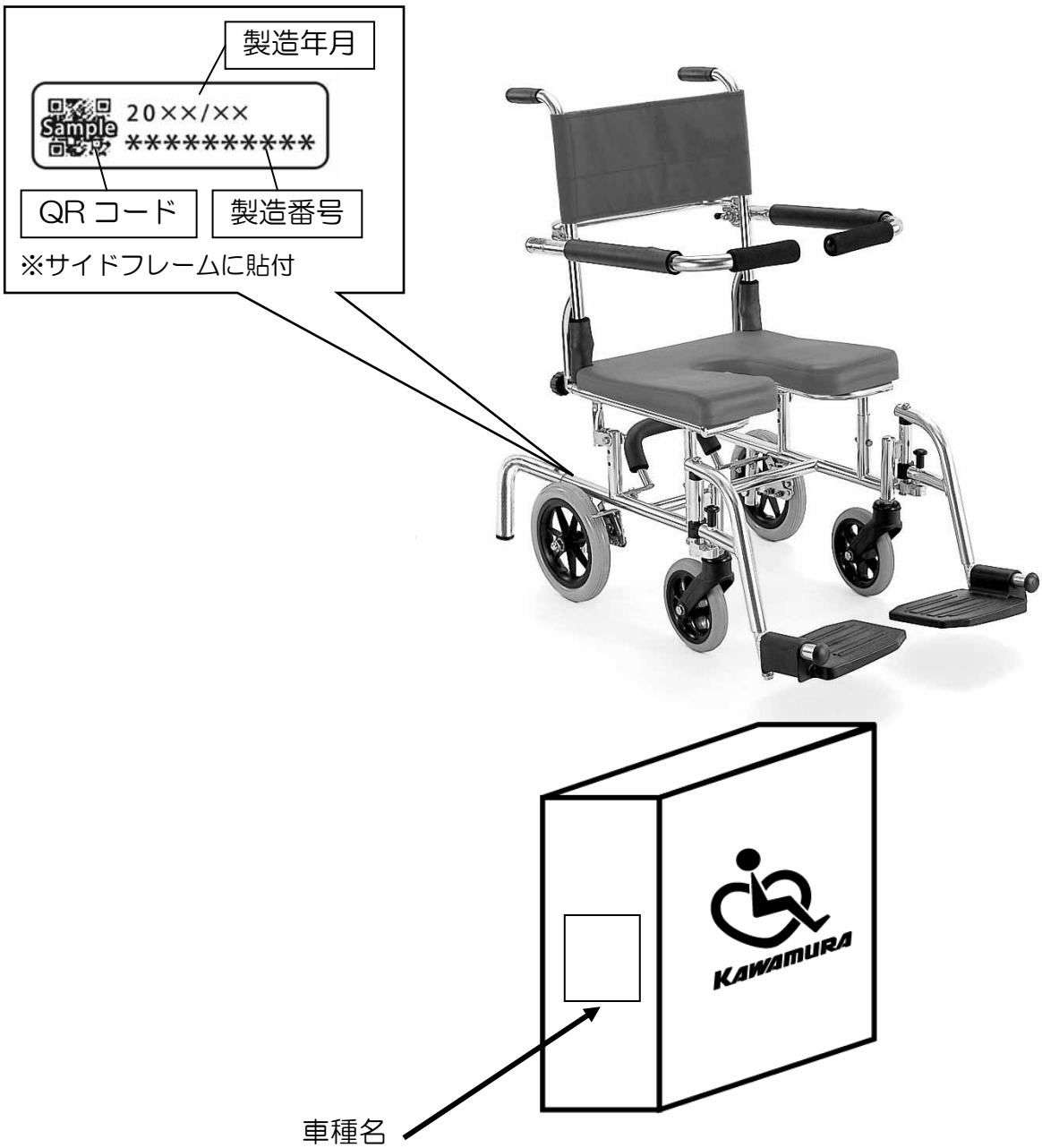
地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。

12.製品記録

アフターサービスなどを的確に受けるため、製造番号を記録しておいてください。
車体番号はサイドフレームに貼り付けられています。

車　　種	
製　造　月	年　　月

＜シール貼付位置＞



13.保証

弊社の定める保証とは、正常な使用状態において、故障が生じた場合に限り、無償にて修理を行うことをお約束するものです。

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。
返送用登録はがきに所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送いただきご登録ください。
※ご登録がない場合は保証対象外となりますのでご注意ください。

★保証期間

お買い上げ日より 1 年間です。（消耗部品は含みません。）

★保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★消耗部品

・肘掛け　・ブレーキー式　・前輪、後輪　・背シート　・座シート

★保証の適用除外となる場合

（ａ）ご使用による消耗品および取扱不注意による破損
　例）タイヤの磨耗およびパンク、シートの破損等
（ｂ）地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
（ｃ）お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
（ｄ）保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
（ｅ）弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
（ｆ）一般に車いすが走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
（ｇ）製品の本来の使用目的にそぐわない使用による故障破損
（ｈ）取扱説明書に従わずして生じた故障破損
（ｉ）取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
（ｊ）保証書をご返送いただいていない未登録の製品
（ｋ）日本国外でご使用の場合

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、５年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

★本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡しください。

★一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。

※異常や不具合が見つかったらご使用を中止して、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

メモ

株式会社カワムラサイクル

■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■仙台サービスセンター	〒982-0023	宮城県仙台市太白区鹿野 3-1-1 リエス鹿野 1 階	TEL022-746-9540
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町１-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18 マックス大阪ビル 5 階	TEL06-6479-2055
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原１-18-3	TEL092-882-4722

■神戸工場　■神戸第二工場　■いなみの工場

本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。

2014.12 版